

ご協賛概要

※ご協賛企業として、告知誌面・受賞作品発表誌面に、企業ロゴを掲載させていただきます。

- 「文藝春秋」9月号(8月10日発売)芥川賞発表号[告知]
- 「文藝春秋」2027年1月号(12月10日発売)新年号[受賞作品発表]
- 「文春オンライン」「文藝春秋PLUS(電子版)」にも掲載

●広告掲載媒体

「文藝春秋」2027年1月号(2026年12月10日発売)

受賞作品発表ページ内にて掲載(ご協賛料金のお支払いは広告掲載時になります)

純広告は基本的には入賞作品の対向ページに掲載させていただきます

*純広告 ご協賛

●ご協賛特別料金

純広告1ページ **280万円**

●原稿サイズ

天地210ミリ×左右144ミリ、
断ち切りサイズ

●純広告原稿締切

2026年11月19日(木)

※制作費(60万円〜)で純広告を作成することも可能です。別途ご相談ください

*タイアップ広告 ご協賛

●ご協賛特別料金

タイアップ2ページ&
「文春オンライン」転載

500万円

タイアップ4ページ&
「文春オンライン」転載

700万円

※タイアップページに関しては弊社にて取材しページ制作をさせていただきます
※文春オンライン転載は10000PV保証となります

*「文藝春秋PLUS」動画 インタビュー広告ご協賛

●動画のみご協賛料金

400万円〜

●誌面とセットの場合

350万円〜

※詳細は
お問い合わせ下さい



bunshun.jp/
bungeishunju/
webinar/full

※「文藝春秋PLUS YouTube チャンネル」に掲載(登録者数約65万人)2万視聴保証
オウンドサイトでの二次利用可(著名人出演の場合を除く)

※動画の掲載時期についてはご希望に応じてご相談させていただきます

お申し込み締切 2026年6月30日(火)

体裁見本(昨年見本)

純広告ご協賛 (1ページ)

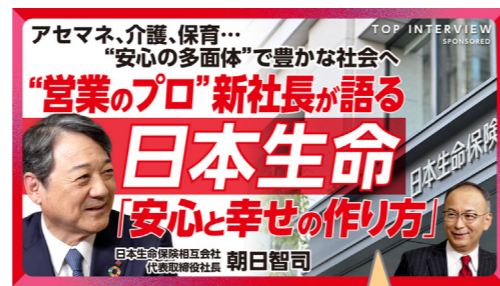


右ページに受賞作品を
左ページに純広告を掲載いたします

タイアップ広告ご協賛 (4ページまたは2ページ)



動画広告事例



文藝春秋取締役の新谷学が
インタビュアーとして
出演することも可能です

お問い合わせ

株式会社 文藝春秋 メディア事業局

〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23

電話 03-3288-6488 メール ad.bungeishunju-g@bunshun.co.jp

https://admap.bunshun.co.jp

サステナブルな 社会を目指して



— # 未来のためにできること —

文藝春秋SDGsエッセイ大賞2026



2026年度特別広告企画を
ご提案いたします。



健全でサステナブルな社会の実現のために 文藝春秋はこの世の中で 必要な媒体であり続けます。

文藝春秋取締役
新谷 学

Shintani Manabu
1989年文藝春秋入社。
「スポーツ・グラフィック ナンバー」編集部、
「週刊文春」編集部、月刊「文藝春秋」編集部などを経て、
2012年4月「週刊文春」編集長、2018年より週刊文春編集局長。
2021年7月より「文藝春秋」編集長（執行役員兼務）。
2023年7月より取締役・文藝春秋総局長。

「私」は頼まれて物を云うことに飽いた。
自分で、考えていることを、読者や編集者に
気兼ねなしに、自由な心持で云って見たい。」

「文藝春秋」創刊にあたって、創業者・菊池寛が
記した言葉です。
以来、103年の歴史を持つ文藝春秋はこの精神
を受け継ぎ、「変わらないもの」「変わるべきもの」
を見極め常に世の中に影響を与えています。

政治家、財界人、芸能人など社会に大きな権力をもった人物や組織を時には厳しく批判、追及しスクープする「週刊文春」に対し、「文藝春秋」はこの国が抱える諸問題について建設的な提言を行っていく雑誌であると私は考えています。

政治も経済も社会も時計の針が止まったままの失われた30年間。
今こそ、数々の難局を直視し、国民的議論のもと、最適な解決策を導き出すべきではないか。
国家の財政、外交、エネルギー、象徴天皇制…、様々な問題提起を、当事者の肉声で行うことが国民雑誌と呼ばれる「文藝春秋」が果たす役割なのです。

100周年を機に始まった「文藝春秋」×「note」のこのエッセイコンテストもおかげさまで今回5年目を迎えました。
サステナブルな社会の実現のためにできることを、「文藝春秋」は唯一無二のメディアとして、これからも提言し続けてまいります。

引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



サステナブルな社会を目指して、 「文藝春秋」×「note」エッセイ大賞を 2026年度も開催します。



「文藝春秋」と「note」——
時代は違えど、情報の発信、
創作の発展を大事にする両者が組み、
読者とともにサステナブルな社会を目指して、
#未来のためにできることをテーマに
本年も幅広く読者に作品を募集します。

昨年の応募作品はなんと約28,000点以上。
過去最高の応募があり、
注目度の高さがうかがえました。
老若男女を問わず、多くの方々がSDGsや未来の社会について考えるきっかけとなり、優秀作品は「文藝春秋」誌上でもご紹介させていただきました。

今年度もサステナブルな社会を目指して
文藝春秋SDGsエッセイ大賞2026を実施いたします。

ウェルビーイング経営を推進し、
持続可能なネットゼロ社会を実現するためにもぜひ、
日本と世界を支える企業の皆様に、
本企画にご協賛賜りますようよろしくお願い申し上げます。

●募集告知・受賞作品発表媒体

「文藝春秋」9月号(8月10日発売) ▶告知
2027年1月号(12月10日発売) ▶受賞作品発表

「文藝春秋PLUS(電子版)」、「文春オンライン」、「note」

●コンテストスケジュール

コンテスト募集開始: 7月24日~
(「文藝春秋」9月号(8月10日発売)にて掲載)

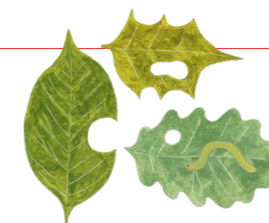
作品募集期間: 7月24日~9月19日

審査期間: 9月21日~11月初旬

受賞作品発表: 12月10日
(「文藝春秋」2027年1月号発売日)

●審査員

作家 角田光代氏・noteクリエイター
などを予定しております



●昨年度の実施概要



note.com/contest/
未来のために
できること?f=trend

文藝春秋本誌



noteサイト



●応募状況

	2025年度	2024年度
開始日	2025/07/25	2024/07/25
終了日	2025/09/20	2024/09/20
投稿数	28,471	21,380
投稿者数	10,104	8,000
総スキ数	455,438	345,681
投稿文字数	55,966,540	34,037,094
読了時間	33,351	28,471
X(旧Twitter)シェア数	2,531	5,233

noteコンテスト企画の中でも多くの反響をいただきました

SNSでも
大反響!

1000文字の制限が、本当にしびれるコンテストなんですね。過去の受賞作がどれも素敵です。

note @note_PR 2025/07/25
\受賞作は「文藝春秋」に掲載/
「文藝春秋SDGsエッセイ大賞2025 #未来のためにできること」
が今年も始まりました！...

あらいひでみ Hidemi Arai 2025/12/10
優秀賞をいただきました！
編集長の新谷さんにコメントいただいていたので、めちゃくちゃうれしい🥳
(コメントは紙面に載っているのが文藝春秋を買ってね)



●過去の協賛企業

鹿島建設 サッポロビール GMOインターネットグループ
JR東日本 清水建設 住友不動産 ANA 大日本印刷 宝酒造
竹中工務店 東京海上日動 TOPPAN 日本生命
野村ホールディングス 丸紅 みずほフィナンシャルグループ
三井住友海上 三井住友フィナンシャルグループ 三菱商事
三菱UFJフィナンシャル・グループ 三菱UFJ投信